資料４

南砺幸せなまちづくり創生総合戦略

南砺市総合戦略推進委員会による
事業実施成果検証・評価・意見

（平成29年度事後評価）

南砺市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部

南砺幸せなまちづくり創生総合戦略　体系表

数値目標	KPI	戦略事業
基本目標Ⅰ　心豊かな「結」と「土徳」のまち創造		
1－1 年間婚姻数	1. 婚活イベント年間参加者数	1 あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（AIP48） 2 婚活応援団なんとおせっ会プロジェクト
1－2 年間出生数	2－1. 産み育てやすい子育て環境であると答えた市民の割合	3 産婦人科医の新規開業支援 4 妊娠・出産包括支援事業（南砺市型「ネウボラ」推進事業）（名称変更） 5 南砺の三人っ子政策（拡充） 7 出生祝い金制度 8 こども医療費助成制度 9 保育料等軽減事業 10 認可外保育施設に通う子どもにかかる利用料（保育料等）支援事業 13 マイナンバーカード連携「なんとすこやか親子支援事業」 95 （新規）小児医療推進事業
	2－2. 就労しながら無理なく子育てできると答えた市民の割合	6 子育て応援制度　（名称変更） 11 なんとで育児and育自（子育て交流サロン） 12 イクメン応援事業
1－3 健康寿命の延伸	3. 地縁組織等による介護事業所数	15 介護予防・日常生活支援活動拠点施設改修及び備品等整備事業 16 介護人材育成タウンなんと
	4. がん検診受診率	19 「あなたのからだをナビゲート」事業（拡充）
基本目標Ⅱ　多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造		
2－1 若者、女性の就業率	7. 若者、女性の就業者数	27 奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業（拡充） 28 起業家育成支援事業 29 女性起業家育成道場 30 母子家庭等就業・自立支援事業（指標変更） 33 空き店舗対策支援事業 34 小規模事業者後継者支援事業（商店後継者支援事業） 35 地域おこし協力隊の地域への人材還流の推進 36 就活・雇用促進事業 96 （新規）空き家活用型しごとの場創出支援事業
2－2 新規起業(家)数	9. 新規雇用者数	37 南砺市まちづくりファンド 38 既存工業団地の無償譲渡で企業誘致（目標値変更） 39 企業立地奨励事業・小規模事業者応援制度
	10. クリエイター移住者数	42 クリエイター育成マッチング事業（拡大） 44 情報活用スペシャリスト投入事業「IT版地域おこし協力隊（フェローシップ）」
2－3 南砺市ブランド商品年間販売額	11. 南砺ブランド商品登録品目数	45 南砺ブランド商品開発支援（拡大）
	12-1. 伝統的工芸職人数	48 伝統的工芸品後継者育成支援事業 50 桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」で養蚕・絹糸再生事業
	12-2. 南砺ブランド商品（農産物）年間販売額	59 農産物直売所5億円産業化 61 6次産業化支援融資事業（変更） 64 新規就農支援事業の実施

※色は内部評価を表している
青…A「かなりの効果があった（8割以上）」及び
　　B「まずまずの効果があった（7割以上）」
黄…C「少しは効果があった（改善・進展）」
赤…D「まだ効果が出ていない（制度等設計中、未着手）又は判断できない」及び
　　E「効果が見込めない（悪化・停滞）」

数値目標	KPI	戦略事業
基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造		
3－1 自治会町内会行事に参加している市民の割合	13. コミュニティビジネス等に取り組む自治会等の数	51 総合型自治振興会強化プラン（拡充） 52 南砺市版 空き家再生等推進事業 79 なんと市民開催 まちづくり塾支援事業
3－2－1 地域資源の利活用（熱量）	14. 木質ペレット利用量	55 再生可能エネルギー推進事業 56 薪ステーション「木材利用でエコな生活を」 57 エコビレッジ住宅ゾーン基本計画策定及び分譲事業
3－2－2 地域資源の利活用（地場産食材）	15. 小中学校給食における地元産品使用率	58 地場産農作物消費向上事業 60 農・福連携食材活用支援事業
	16. 間伐面積	66 五箇山茅場の造成補助事業 67「森の学校」の創設
3－3 縮減公共施設の有効活用面積	18. 譲渡募集に係る応募数	70 公共施設再編後の施設を活用した企業誘致
基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造		
4－1－1 年間転入者数	19. 転入奨励金の年間交付件数	72 移住定住者の保育料無料制度 73 定住促進雇用対策事業 74 五箇山地域に住まんまい家プロジェクト 75 ふるさと回帰転入助成事業 77 移住コンシェルジュ事業（拡充） 78 定住支援事業 23 山村留学定住事業（拡充）
4－1－2 年間転出者数	20-1. 住み続けたいと思う市民の割合	80 南砺版求人バンクで地域活性化（地域の困りごと解決） 81 なんとポイント事業 17 三世代同居奨励金及び推進住宅改修等助成事業（名称変更） 69 とやま呉西圏域連携事業の推進
	20-2. 南砺市に「誇り」や「愛着」を感じている市民の割合	20 ふるさと教育推進事業 21 学校間をつなぐ遠隔協働学習 49 マイスター認定事業
	20-3. 公共交通を使いやすいと感じている市民の割合	24 なんバスで暮らそう事業 25 南砺金沢線バス運行事業 26 JR城端線駅舎Wi-Fi整備事業
4－2 貢献市民の人数	21-1. 観光客入り込み数	82 なんとエコツーリズム事業 83 滞在型彫刻体験等支援事業 87 コンベンション支援事業 53 地元の空き家を活用した短期滞在型施設経営支援「田舎に泊まろう」 76 観光客誘致推進に向けた広域連携事業 92 TOGA国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想
	21-2. 観光客の満足度	84 観光客受入環境整備事業 89 おもてなしFree Wi-Fi事業 97（新規）なんチャリ事業
	22. ふるさと寄附をした人数	90 貢献市民登録制度 91 ふるさと寄附金の推進及びふるさと産品の拡大 85 なんと！幸せのおすそわけキャンペーン
4－3 提携大学数	24. 官学・官民連携の手法を活用した事業実施数	93 官学、官民連携事業 94 金沢大学セミナーハウス整備事業

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅰ　心豊かな「結」と「土徳」のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　若者の結婚活動を支援 ②　妊娠, 出産, 子育てに切れ目のない総合的な支援 ③　高齢者を地域全体で見守る体制づくりを支援 ④　平均寿命と健康寿命を延伸 ⑤　南砺を想う子どもを育む ⑥　暮らしやすさを実感できる地域の創造

イ　指標と達成率

数値目標 1-1	年間婚姻数	関連する施策区分	①
指標の説明、確認方法	一年間（４月～翌年３月）に南砺市で受付した婚姻届の件数		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
176	185	194	202	211	220	220	件	170	77%	84%
	（前年に対する変化目標）									
	9	9	8	9	9					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

婚姻届出数は、平成28年度より減少しておりＤ判定。
数値目標に繋がるＫＰＩである「婚活イベントの参加者数」は順調に推移しているが、数値目標である「年間婚姻数」は目標値を達成していない。これは、結婚適齢期といえる20代～30代の人口の減少が男女とも大きいことと、25歳～39歳の世代で未婚率が高いことが主な要因と考えられる。
（改善点）
人口の減少については、20代の前の世代の人口も減っており、今後も減少は避けられない。社会減を食い止めることが重要である。
未婚率の低下は、婚活事業のメインターゲットであり、平成29年度から取り組んでいる婚活地域サポート事業など、市全体の意識改革を行いながら、継続して推進していくことで未婚率の低下につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-①　若者の結婚活動を支援
この施策の中で取り組む事業	1　あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（AIP48） 2　婚活応援団なんとおせっ会プロジェクト

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　1	婚活イベント年間参加者数
指標の説明、確認方法	市及び民間団体が実施する婚活イベント等への年間参加者数（4月～翌年3月）

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
441	700	800	900	1000	1100	1100	人	790	72%	88%
	（前年に対する変化目標）									
	259	100	100	100	100					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

年度目標の９割近くを達成しておりＢ判定。
毎年参加者数は伸びてきている。
ＫＰＩに繋がる事業は順調に伸びてきているが、女性の参加者がなかなか集まらないという課題もみえており、マンネリ化を防ぐなど工夫することで、参加者の増加につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	こども課	関係課	健康課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅰ　心豊かな「結」と「土徳」のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　若者の結婚活動を支援 ②　妊娠, 出産, 子育てに切れ目のない総合的な支援 ③　高齢者を地域全体で見守る体制づくりを支援 ④　平均寿命と健康寿命を延伸 ⑤　南砺を想う子どもを育む ⑥　暮らしやすさを実感できる地域の創造

イ　指標と達成率

数値目標 1-2	年間出生数（変更）	関連する施策区分	②
指標の説明、確認方法	年間出生数（４月～翌年３月） ※　出生の母数となる女性の数が年齢ピラミッドより減ることが確定しているため、目標数値も減少している。		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
305	332	330	328	326	324	324	－	297	92%	91%
	（前年に対する変化目標）									
	27	−2	−2	−2	−2					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｃ	

年度目標に達していないが、平成28年度より増えているためＣ判定。
目標に繋がるＫＰＩのうち、仕事と育児の両立にかかるＫＰＩの評価が低い。
（改善点）
平成30年度より市民病院内に「こども医療センター」を設置し、小児外科医療や病児保育など新たなサービスによる子育て環境の整備に取り組むこととしている。さらに、保健センター等と連携して、イクメン応援事業の実施や父親が家庭において家事や育児等に協力する意識の向上を図ることにより、家庭内で安心して子育てができる環境を整えることで、さらに出産に踏み切る方が増加することが期待される。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	健康課	関係課	医療課、こども課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-②　妊娠,出産,子育てに切れ目のない総合的な支援			
この施策の中で取り組む事業	3	産婦人科医の新規開業支援	9	保育料等軽減事業
	4	南砺市型「ネウボラ」推進事業	10	認可外保育施設に通う子どもにかかる利用料（保育料等）支援事業
	5	南砺の三人っ子政策	13	マイナンバーカード連携「なんとすこやか親子支援事業」
	7	出生祝い金制度	95	小児医療推進事業
	8	こども医療費助成制度		

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　2-1	産み育てやすい子育て環境であると答えた市民の割合（変更）
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）南砺市の市政への満足度を問う設問の中の産み育てやすい子育て環境づくりの項目について、「満足」「やや満足」「ふつう」と回答した人の合計を有効回答数で除した数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
97.4	97.9	98.4	99	99.5	100	100	%	83.2	83%	84%
	（前年に対する変化目標）									
	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を上回っておりＡ判定。
年代別にみると、最も満足度が高いのは70歳以上、次いで高いのが20代。逆に最も低いのは回答数は少ないものの18歳-19歳が最小で、次いで低いのは50代となっている。
繋がる事業については順調に活用が増えており、そのことが20代や30代の満足度に繋がっていると考えられる。
南砺で子育てを推進するために、制度を活用している世代で満足度が高いことを10代の方たちに知ってもらう事も必要。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	こども課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-②　妊娠,出産,子育てに切れ目のない総合的な支援
この施策の中で取り組む事業	6　ひとり親世帯子育て応援制度 11　なんとで育児and育自（子育て交流サロン） 12　イクメン応援事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　2-2	就労しながら無理なく子育てできると答えた市民の割合（変更）
指標の説明、確認方法	（市民意識調査：18歳未満のお子さんがいる家庭）就労しながら無理なく子育てすることができると思うと回答した数／有効回答数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
58.5	60	62.5	65	67.5	70	70	0	62.1	89%	96%
	（前年に対する変化目標）									
	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

平成28年度より低下しておりＣ判定。
最も満足度が高いのは50代、次いで65歳～69歳、70歳以上となっている。最も低いのは60歳～64歳で、子育ての中心となる20歳～49歳の世代が軒並み60%前後となっている。
（改善点）
「子育て応援制度」は平成29年度15社の認定を行っており、今後、認定企業の取組みを紹介することで、意識が広がることにつなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	健康課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅰ　心豊かな「結」と「土徳」のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　若者の結婚活動を支援 ②　妊娠,出産,子育てに切れ目のない総合的な支援 ③　高齢者を地域全体で見守る体制づくりを支援 ④　平均寿命と健康寿命を延伸 ⑤　南砺を想う子どもを育む ⑥　暮らしやすさを実感できる地域の創造

イ　指標と達成率

数値目標 1-3	健康寿命の延伸（変更）	関連する施策区分	③④
指標の説明、確認方法	健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間であり、年齢階級別の人口、５年間の死亡数、６５歳以上の要介護認定者数等により算出する。 ※　検証は、毎年公表される簡易生命表、住基台帳人口等により毎年算定することとしたい。		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
男性 77.97歳（H22）	78.53	78.64	78.75	78.86	78.97	男女とも1歳伸ばす	歳	79.49（H28）	－	－
	（前年に対する変化目標）									
	－	0.11	0.11	0.11	0.11					
女性 82.97歳（H22）	83.53	83.64	83.75	83.86	83.97	男女とも1歳伸ばす	歳	83.47（H28）	－	－
	（前年に対する変化目標）									
	－	0.11	0.11	0.11	0.11					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

H28実績で、男性はH31目標値を達成している。また女性についてもわずかではあるが上昇している。
特定健診受診率・特定保健指導実施率は県下１位の高さであり、生活習慣病の発症・重症化予防の取組や健康意識の高揚により、女性についても目標値の達成に向けた取組を進める。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地域包括ケア課	関係課	南砺で暮らしません課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-③　高齢者を地域全体で見守る体制づくりを支援
この施策の中で取り組む事業	15　介護予防・日常生活支援活動拠点施設改修及び備品等整備事業 16　介護人材育成タウンなんと

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　3	地縁組織による介護事業所数
指標の説明、確認方法	地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）のうち、多様なサービスのAとB及び一般介護予防事業の地域介護予防活動支援事業の週１回以上のサロンを実施する地縁組織等の事業所数の合計

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	0	3	14	22	31	31	事業所	17	55%	121%
	（前年に対する変化目標）									
	－	3	11	8	9					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を上回っておりＡ判定。
週１サロンが増加し、地域の介護予防に対する意識が向上した。
今後は【戦略15】を推進することで、サービスＢの普及を強化したい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	健康課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-④　平均寿命と健康寿命を延伸
この施策の中で取り組む事業	19　「あなたのからだをナビゲート」事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　4	がん検診受診率（変更）
指標の説明、確認方法	以下の理由から、がん検診のうち、「肺がん検診受診率」を指標とする。 ①対象者が他のがん検診よりも多い、②10年生存確率ががん検診の中で最も低い、③市の受動喫煙防止対策の取組と関連する ※なお、今後対象者の高齢化が進むことによる未受診者の増加が想定されるため、目標値を南砺市民健康プランで設定している50%を確保することとしたい。

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
53	－	－	50	50	50	50	%	51.7	103%	103%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	-3	0	0					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

年度目標を達成しているものの平成28年度と比べ低下しておりＢ判定。
肺がん検診は、胸部レントゲン検査やヘリカルＣＴ検査による短時間で苦痛のない検査方法を用いており、他のがん検診と比較しても受診しやすいことや、感染症予防としての検診であることを周知し受診につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅱ　多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　起業･コミュニティービジネス支援と就業支援 ②　企業誘致の推進と新たなビジネスを支える地域創生ファンドの組成 ③　南砺版エコノミックガーデニングの構築 ④　クリエイターの集積による新たな魅力の創造 ⑤　五箇山＆南砺ブランド商品の開発と販売促進 ⑥　職人育成と伝統工芸の維持

イ　指標と達成率

数値目標 2-1	若者、女性の就業率（変更）	関連する施策区分	①②
指標の説明、確認方法	23歳以上の若者（35歳以下）と64歳以下の女性のうち、給与・農業・事業所得がある人数から給与収入額が103万円以下の人数を除き、当該対象の総数で除した割合		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
73.6 (H27)	－	－	74	74.5	75	75.5	%	74.4	99%	－
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	－	0.5	0.5					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
A	

同じ計算方法を用いた場合の平成28年度の値より上昇しておりA判定。
女性では各年代の内、40代で最も高く、逆に最も低いのは60歳-64歳であるが、次いで低いのが30代となっており、結婚や出産を機に離職したか又は産休育休等で無給であると考えられる。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-①　起業･コミュニティービジネス支援と就業支援			
この施策の中で取り組む事業	27	奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業	34	小規模事業者後継者支援事業（商店後継者支援事業）
	28	起業家育成支援事業	35	地域おこし協力隊の地域への人材還流の推進
	29	女性起業家育成道場	36	就活･雇用促進事業
	30	母子家庭等就業･自立支援事業	96	空き家活用型しごとの場創出支援事業
	33	空き店舗対策支援事業		

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　7	若者、女性の就業者数（変更）
指標の説明、確認方法	23歳以上の若者（35歳以下）と64歳以下の女性のうち、給与・農業・事業所得がある人数から給与収入額が103万円以下の人数を除いた人数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
10641	－	－	10435	10249	10083	10083	%	**10435**	103%	－
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	−206	−186	−166					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

平成28年度より減少しているが人口減少率より高いためA判定

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅱ　多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　起業･コミュニティービジネス支援と就業支援 ②　企業誘致の推進と新たなビジネスを支える地域創生ファンドの組成 ③　南砺版エコノミックガーデニングの構築 ④　クリエイターの集積による新たな魅力の創造 ⑤　五箇山＆南砺ブランド商品の開発と販売促進 ⑥　職人育成と伝統工芸の維持

イ　指標と達成率

数値目標 2-2	新規起業(家)数	関連する施策区分	③④
指標の説明、確認方法	これまでに、起業家育成支援事業、空き店舗対策支援事業及び小規模事業者後継者支援事業の補助制度を活用し、起業又は事業継承された事業所数、および、それ以外にH27年度以降に商工会に新規で加入された数の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
15	32	49	66	83	100	100	件	**104**	104%	158%
	（前年に対する変化目標）									
	17	17	17	17	17					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

年度目標を上回っているものの、単年度起業数が平成28年度実績から大幅に減少しておりB判定。(H28:44件→H29:20件)

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	企業誘致推進室	関係課	商工課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-③　南砺版エコノミックガーデニングの構築
この施策の中で取り組む事業	37　南砺自然エネルギーファンド 38　既存工業団地の無償譲渡で企業誘致 39　企業立地奨励事業小規模事業者応援制度

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　9	新規雇用者数
指標の説明、確認方法	企業立地助成金事業のうち「雇用創出事業」の対象である市内に住所を有する新規雇用従業員数の合計（H26からの累計）

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
3	22	42	61	81	100	100	人	32	32%	52%
	（前年に対する変化目標）									
	19	20	19	20	19					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｃ	

年度目標に達していないものの、平成28年度より増加しているためＣ判定。
有効求人倍率が高い水準で推移しており、企業としては雇用したいが、人が確保できない状況である。
（改善点）
「企業立地振興事業」により、企業の設備投資は活発になっているほか、昨年度途中よりHP「なんとジョブ」を開設したことから、今後掲載企業数の増や移住セミナー等でのPRを行うことで新規雇用の増加につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-④　クリエイターの集積による新たな魅力の創造
この施策の中で取り組む事業	42　クリエイタープラザ運営事業 44　情報活用スペシャリスト投入事業「IT版地域おこし協力隊(フェローシップ)」

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 10	クリエイター移住者数
指標の説明、確認方法	市内のクリエイティブ産業関係事業所に聴取した市内に転入された従業員数の合計

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	20	40	60	80	100	100	人	52	52%	87%
	（前年に対する変化目標）									
	20	20	20	20	20					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

年度目標の９割近くを達成しているものの単年度移住者数が平成28年度実績より大幅に減少しておりＢ判定。
(H28:29人→H29:10人)

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	農林課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅱ　多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　起業･コミュニティービジネス支援と就業支援 ②　企業誘致の推進と新たなビジネスを支える地域創生ファンドの組成 ③　南砺版エコノミックガーデニングの構築 ④　クリエイターの集積による新たな魅力の創造 ⑤　五箇山＆南砺ブランド商品の開発と販売促進 ⑥　職人育成と伝統工芸の維持

イ　指標と達成率

数値目標 2-3	南砺市ブランド商品年間販売額	関連する施策区分	⑤⑥
指標の説明、確認方法	農産品：市内産物直売所・農産加工品販売額（砺波農林振興センター「普及指導計画書より）及びその他の主な農産加工品販売額（市農林課調査）を合計したもの、商工：自治体特選ストア販売額及び伝統的工芸品販売額（市商工課より井波彫刻及び五箇山和紙の組合へ聴取）の合計額		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
18.2	18.6	18.9	19.3	19.6	20	20	億円	17.6	88%	91%
	（前年に対する変化目標）									
	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

厳しい生産販売環境であるが達成率90%以上のためＡ判定。
なお、平成30年度から新制度に移行しており、ブランド商品の魅力の更なる向上に取り組むことで販売額の向上を図る。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課、農林課、企業誘致推進室

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-⑤　五箇山＆南砺ブランド商品の開発と販売促進
この施策の中で取り組む事業	45　南砺ブランド商品開発支援

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 11	南砺ブランド商品登録品目数
指標の説明、確認方法	なんとのほんまもん、自治体特選ストア、なんとのお土産、なんとのうまいもんに掲載、登録されている総品目数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
	266	275	283	292	300					
258	（前年に対する変化目標）					300	品目	588	196%	208%
	8	9	8	9	8					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

最終年度目標を達成しておりＡ判定。
なお、平成30年度から新制度に移行しており、ブランド商品の登録品目数は数を絞り、南砺ブランドとして推すに相応しい上位の品のみ認定をする方針であり、数値目標の達成に当たっては【戦略45】による商品の磨きあげや販路拡大がより重要になる。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課、エコビレッジ推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-⑥　職人育成と伝統工芸の維持
この施策の中で取り組む事業	48　伝統的工芸品後継者育成支援事業 50　桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」で養蚕・絹糸再生事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 12-1	伝統的工芸職人数
指標の説明、確認方法	井波彫刻協同組合及び五箇山和紙の組合に聴取した組合員及び和紙従業者数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
137	137	137	137	137	137	137	人	132	別途判定	別途判定
	（前年に対する変化目標）									
	0	0	0	0	0					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
B	

年度目標を9割をこえているものの、平成28年度より従事者数が減少しておりB判定。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	農林課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-⑥　職人育成と伝統工芸の維持
この施策の中で取り組む事業	59　農産物直売所５億円産業化 61　6次産業化支援融資事業 64　新規就農支援事業の実施

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 12-2	南砺ブランド商品（農産物）年間販売額（変更）
指標の説明、確認方法	市内産物直売所・農産加工品販売額（砺波農林振興センター「普及指導計画書より）及びその他の主な農産加工品販売額（市農林課調査）を合計したもの

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
11.4	11.7	12	12.3	12.6	13	13	億円	11.1	85%	90%
	（前年に対する変化目標）									
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

厳しい生産販売環境であるが達成率90%以上のためＡ判定。
農業者の高齢化、天候不順により販売額は前年並

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造 ②　木質バイオマスエネルギー等の活用 ③　地産地消推進による食の自給率向上 ④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦 ⑤　森里川海のつながりでいのち湧く地域の形成 ⑥　公共施設再編計画の実現

イ　指標と達成率

数値目標 3-1	自治会町内会行事に参加している市民の割合（変更）	関連する施策区分	①
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）過去１年間に自治会町内会行事に参加したことがあると回答した数／有効回答数		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率（%）	年度時点の目標数値に対する達成率（%）
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
79	80	80	80	80	80	80	%	74.5	93%	93%
	（前年に対する変化目標）									
	1	0	0	0	0					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

平成28年度より低下しておりD判定。
50代以上では全ての年代で80%を超えているが、年代が低下していくごとに参加率は低下していく。
（改善点）
自治振興会単位で推進している小規模多機能自治の推進において、若者や女性の参加を積極的に行える組織のあり方等について検討して頂いており、自治会町内会においても、その展開により積極的に参加する若者の割合が増えることにつなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	地域包括ケア課、交流観光まちづくり課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造
この施策の中で取り組む事業	51　総合型自治振興会強化プラン 52　南砺市版 空き家再生等推進事業 79　なんと市民開催 まちづくり塾支援事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 13	コミュニティビジネス等に取り組む自治会等の数
指標の説明、確認方法	地域課題解決に住民協働で取り組む「介護予防・日常生活支援総合事業」や「総合型自治振興会」、「空き家再生等推進事業」といった地域活動やコミュニティビジネスを実践する自治振興会、自治会、団体の合計数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	0	10	20	30	40	40	団体	8	20%	40%
	（前年に対する変化目標）									
	－	10	10	10	10					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

平成28年度から増加がなく、停滞していることからD判定。
大きな要因として、平成31年4月から小規模多機能自治をスタートすることとし、全自治振興会へ説明会を行うなどした結果、組織作りに人や時間が多く必要になり、新たな活動を始める余力を結果として奪ってしまったことがある。
（改善点）
平成30年度は「統合型自治振興会強化プラン」を拡充しており、組織作りと同時に動き始められるよう、支援を進めていきたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	エコビレッジ推進課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造 ②　木質バイオマスエネルギー等の活用 ③　地産地消推進による食の自給率向上 ④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦 ⑤　森里川海のつながりでいのち湧く地域の形成 ⑥　公共施設再編計画の実現

イ　指標と達成率

数値目標 3-2-1	地域資源の利活用（熱量）	関連する施策区分	②④⑤
指標の説明、確認方法	ペレットストーブ設置補助金により設置された台数に対し、ストーブ１台当たり１ｔ（17GJ）の熱消費量を乗じて算出した熱量の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
595	816	1037	1258	1479	1700	1700	GJ	1326	78%	105%
	（前年に対する変化目標）									
	221	221	221	221	221					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を上回っておりＡ判定。
平成29年度は15件助成しており、ペレットストーブの普及に効果が出ている。
今年度、市内でのペレット生産が始まることにより、地域資源の循環が更に進むと考えられる。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	農林課	関係課	エコビレッジ推進課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造 ②　木質バイオマスエネルギー等の活用 ③　地産地消推進による食の自給率向上 ④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦 ⑤　森里川海のつながりでいのち湧く地域の形成 ⑥　公共施設再編計画の実現

イ　指標と達成率

数値目標 3-2-2	地域資源の利活用（地場産食材）（変更）	関連する施策区分	③④
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）地場産食材を意識して購入している市民の割合		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
37.4	43	45	40	40	40	40	%	33.1	83%	83%
	（前年に対する変化目標）									
	5.6	2	-5	0	0					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

平成28年度より低下しておりD判定。
この指標は「地場産食材を意識して購入している市民の割合」であり、女性に限定すると44.5%の方が「意識して購入する」と回答している。また、年齢別では10代、20代で低く、70代以上で高い。
（改善点）
地場産品を販売している農産物直売所の販売体制について見直しを行うなど、市民が地場産品を購入しやすい場所やしくみづくりを働きかけていく。また、地場産食材を扱う飲食店が増えることで、意識の向上に繋がることが期待される。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	エコビレッジ推進課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-②　木質バイオマスエネルギー等の活用
この施策の中で取り組む事業	55　再生可能エネルギー推進事業 56　薪ステーション「木材利用でエコな生活を」 57　エコビレッジ住宅ゾーン基本計画策定及び分譲事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 14	木質ペレット利用量
指標の説明、確認方法	南砺市の公共施設における１年間のペレット利用量

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29 年度 実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
	188	296	404	512	620					
80	（前年に対する変化目標）					620	t	**1063**	171%	263%
	108	108	108	108	108					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりＡ判定。
公共施設６箇所のペレットボイラーの稼働率を上げ利用量を増やすとともに、公共施設のペレットストーブを整備し利用量を増やしていく。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	農林課	関係課	教育総務課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-③　地産地消推進による食の自給率向上
この施策の中で取り組む事業	58　地場産農作物消費向上事業 60　南砺の食材を使用した健康管理食・病態食の製造販売支援

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 15	小中学校給食における地元産品使用率
指標の説明、確認方法	富山県農産食品課調査「元気とふれあい学校給食づくり事業」への報告値（4月～翌年3月）

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
29.5	30	31.3	32.5	33.8	35	35	%	30.7	88%	94%
	（前年に対する変化目標）									
	0.5	1.3	1.2	1.3	1.2					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

年度目標に届いていないが、平成28年度より伸びているためC判定。
平成29年度中は、天候不順による野菜等の不作もあり伸びが鈍くなった。
（改善点）
学校側の需要と、生産者側の供給のタイミングを合せることにより増加に努めていきたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	農林課	関係課	エコビレッジ推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦
この施策の中で取り組む事業	66　五箇山茅場の造成補助事業 67　「森の学校」の創設

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 16	間伐面積（変更）
指標の説明、確認方法	森林組合の単年度の間伐実施面積

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
213	213	223	233	246	260	260	件	**166**	64%	0
	（前年に対する変化目標）									
	0	10	10	13	14					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

平成29年度中に指標を見直したばかりであり、事業の効果を判断できる段階に無いためD判定。
実績値としては総合戦略の開始時よりも減少しており、その要因には森林組合におけるマンパワー及び財源の不足がある。
（改善点）
担い手不足の解消につながる【戦略67】「「森の学校」の創設」に取り組むが、効果が出るまでにはまだ時間が必要である。今後は、森林環境譲与税の財源を活用して、担い手の育成を進めるとともに、間伐材を薪などのエネルギーとして活用する仕組みを進めることで指標の改善につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	行革･施設管理課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造 ②　木質バイオマスエネルギー等の活用 ③　地産地消推進による食の自給率向上 ④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦 ⑤　森里川海のつながりでいのち湧く地域の形成 ⑥　公共施設再編計画の実現

イ　指標と達成率

数値目標 3-3	縮減公共施設の有効活用面積	関連する施策区分	⑥
指標の説明、確認方法	公共施設等総合管理計画に基づき譲渡した公共施設のうち、民間活用された施設面積の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	0	3000	15000	27000	39000	39000	㎡	2358	6%	0
	（前年に対する変化目標）									
	－	3000	12000	12000	12000					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

年度目標に達していないが、平成28年度より伸びているためC判定。
目標達成には、譲渡価格や改修に係る費用、解体費用の負担が課題と考えられる。
（改善点）
これまでの譲渡交渉により再編は進捗しているが、民間活用に向けた譲渡は少ないことから、再編推進施策の拡充や制度化によって民間事業者の提案しやすい環境を整備することで、民間への譲渡を進めていきたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	行革･施設管理課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-⑥　公共施設再編計画の実現
この施策の中で取り組む事業	70　公共施設再編後の施設を活用した企業誘致

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 18	譲渡募集に係る応募数（変更）
指標の説明、確認方法	民間でも活用可能な施設を対象に、公募・利活用提案を募集し、応募された者の数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	－	－	25	50	75	75	件	4	5%	16%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	25	25	25					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

年度目標に達していないが、平成28年度より伸びているためC判定。
目標達成には、譲渡価格や改修に係る費用、解体費用の負担が課題と考えられる。
（改善点）
今年度、民間事業者等を対象としたバスツアーを実施したところ、2件の応募に繋がった。今後も実際に施設の状況を確認いただける場を設けていきたい。あわせて、譲渡価格の減価や改修や解体の支援策を拡充、制度化することで民間事業者から応募しやすい環境を整備したい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	地方創生推進課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　移住定住施策の推進 ②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援 ③　交流観光の推進 ④　貢献市民の拡大 ⑤　「文化芸術創造都市」としての魅力をさらに高める ⑥　高校,高専,大学,大学院,民間企業などとの連携の拡充

イ　指標と達成率

数値目標 4-1-1	年間転入者数	関連する施策区分	①②
指標の説明、確認方法	年間転入者数（4月～翌年3月） ※達成度の算出にあたっては、H26からの減少分（29人）を、H26からの増加目標（29人）で割ることで算出している。なお、実績値が現状値から見て負の値となっているため、達成度も負の数字になる。		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
1012	1022	1031	1041	1050	1060	1060	人	983	-60%	-100%
	（前年に対する変化目標）									
	10	9	10	9	10					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

平成28年度より減少しておりＤ判定。
転入奨励金等交付対象世帯は増えているが、近隣（砺波、小矢部）からの移住は減少傾向にある。また、平成28年度に比べると0歳～10歳の転入が減少していることから、子育て世代の転入が平成28年度に比べ少なかったものと考えている。
（改善点）
市内へのＵターンや転入奨励制度及び市内での生活を応援する制度のチラシ(南砺へ帰ろう)を市内全戸に配布し、市内の親世代から市外転出者への周知を図り、子育て環境を併せてアピールすることで、子育て世代の転入につなげたい。また、「移住コンシェルジュ事業」を拡充し南砺市単独で移住セミナーを実施することで、引き続き、首都圏からの転入者の拡大に努めたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	こども課、交流観光まちづくり課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-①　移住定住施策の推進	
この施策の中で取り組む事業	72　移住定住者の保育料無料制度 73　定住促進雇用対策事業 74　五箇山地域に住まんまい家プロジェクト 75　ふるさと回帰転入助成事業 77　移住コンシェルジュ事業	78　定住支援事業 23　山村留学定住事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 19	転入奨励金の年間交付件数
指標の説明、確認方法	定住奨励金制度「南砺で住んでみんまいけ事業」の内の、転入奨励金の補助件数（4月～翌年3月）

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
	22	24	26	28	30					
20	（前年に対する変化目標）					30	件	32	107%	123%
	2	2	2	2	2					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりA判定。
KPIに繋がる事業は周知されてきており、一定の実績値で推移している。
ただし上位の数値目標が伸び悩んでおり、今後は移住希望者のほか、南砺市民に向けても周知し、Uターン等のきっかけとなるよう働きかけを行う。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	南砺で暮らしません課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　移住定住施策の推進 ②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援 ③　交流観光の推進 ④　貢献市民の拡大 ⑤　「文化芸術創造都市」としての魅力をさらに高める ⑥　高校,高専,大学,大学院,民間企業などとの連携の拡充

イ　指標と達成率

数値目標 4-1-2	年間転出者数	関連する施策区分	①②
指標の説明、確認方法	年間転出者数（4月～翌年3月） ※達成度の算出にあたっては、H26からの減少分（3人）を、H26からの減少目標（25人）で割ることで算出している。		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
1242	1234	1225	1217	1208	1200	1200	人	**1239**	7%	12%
	（前年に対する変化目標）									
	-8	-9	-8	-9	-8					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

年度目標へは届かないものの、平成28年度より改善し、H26年度の実績（基準値）よりも減少しているためC判定。
男性の30～34歳や女性の25～29歳などで大きく改善した。しかし女性の20～24歳では転出が増えており、職業上の理由から三大都市圏へ出る傾向がみられる。
（改善点）
市民意識調査では、南砺市に住み続ける事に対し若い世代で「わからない」という回答が多いことから、将来の南砺市に携わる意識を高める方策や、転出者の動向を調査することなどによって抑制につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	南砺で暮らしません課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援
この施策の中で取り組む事業	80　南砺版求人バンクで地域活性化（地域の困りごと解決） 81　なんとポイント事業 17　三世代同居奨励金及び推進リフォーム助成事業 69　富山県西部圏域連携都市圏の形成

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 20-1	住み続けたいと思う市民の割合（変更）
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思うと回答した数／有効回答数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
70.8 (H28)	－	－	74	77	80	80	%	68	85%	92%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	3.2	3	3					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

平成28年度より下がっておりD判定。
60歳以上の数値は高く、年度の目標値を超えているのは65～69歳のみとなっている。30代～50代ではどれも65%前後で推移し、18～20代では低くなっている。理由としては、どこかへ引っ越したいというよりは、「わからない」の回答が多い。
（改善点）
この指標は、総合的な指標であり、子育て施策やふるさと教育を今後とも推進することや、将来の姿をイメージできていない若者の意識を高めることで、南砺市に住みたいと考える若い世代を増やす取組みが必要と考えている。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	教育総務課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援
この施策の中で取り組む事業	20　ふるさと教育推進事業 21　学校間をつなぐ遠隔協働学習 49　マイスター認定事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 20-2	南砺市に「誇り」や「愛着」を感じている市民の割合（変更）
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）南砺市への「誇り」や「愛着」を感じていると回答した数／有効回答数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
69.3 (H28)	－	－	70	70.5	71	71	%	**64.7**	91%	92%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	0.7	0.5	0.5					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

平成28年度より下がっておりＤ判定。
20代以下では高く、30代40代と60代前半ではやや低い。
若い年代で割合が高いことから、学校におけるふるさと教育に一定の効果があると考えられる。
一方で、市民意識調査の結果から、30代では「忙しい」という理由から学習活動やスポーツ・運動、文化的活動の頻度が減少する傾向がみられる。
（改善点）
この指標は、総合的な指標であることから、働き方改革等、様々な取組みの成果により目標が達成するものと考えている。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援
この施策の中で取り組む事業	24　なんバスで暮らそう事業 25　主要地方道金沢井波線バス実証実験運行事業 26　ＪＲ城端線駅舎Wi-Fi整備事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 20-3	公共交通を使いやすいと感じている市民の割合（変更）
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）JR城端線、民営バス、市営バス、タクシーを使いやすいと感じると回答した数／回答数から無回答を除いた数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
35.9 (H28)	－	－	38	39	40	40	%	30.9	77%	81%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	2.1	1	1					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

平成28年度より下がっておりＤ判定。
交通機関ごとに見るとタクシーの20.7%～民営バスの7.5%となる。ただし、「（この1年間に）良く利用する」とした人においては、使いやすいと感じる人が84.8%～40.6%となることから、一定の効果があると考えられる。
（改善点）
より使いやすい公共交通を目指すことに加え、市営バスのシルバーパスの周知など、普段利用していない人に公共交通を利用してもらうような取組が必要と考えている。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　移住定住施策の推進 ②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援 ③　交流観光の推進 ④　貢献市民の拡大 ⑤　「文化芸術創造都市」としての魅力をさらに高める ⑥　高校, 高専, 大学, 大学院, 民間企業などとの連携の拡充

イ　指標と達成率

数値目標 4-2	貢献市民の人数	関連する施策区分	③④⑤
指標の説明、確認方法	市外に住みながらも、南砺市を心に想い、集い、実践される方。第２住民登録をされた人数の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	0	300	500	650	800	800	人	453	57%	91%
	（前年に対する変化目標）									
	－	300	200	150	150					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
A	

ほぼ目標数値を達成しておりA判定。
平成30年度以降も国の関係人口創出モデル事業を活用しながら、目標値の達成に努める。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	交流観光まちづくり課	関係課	エコビレッジ推進課、商工課、地方創生推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-③　交流観光の推進			
この施策の中で取り組む事業	82	なんとエコツーリズム事業	92	TOGA国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想
	83	滞在型彫刻体験等支援事業		
	87	コンベンション支援事業		
	53	地元の空き家を活用した短期滞在型施設経営支援「田舎に泊まろう」		
	76	観光客誘致推進に向けた広域連携事業		

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 21-1	観光客入り込み数（変更）
指標の説明、確認方法	市の調査として観光協会支部単位ごとに調査している観光客入り込み数の合計

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
325.6	－	－	351	360	370	370	万人	345.5	93%	98%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	25.4	9	10					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｃ	

前年度より減少しておりＣ判定。
日本人観光客の減少は、人口減少と、近年の旅行形態の変化が大きな要因である。
ただしインバウンドは年々増加しており、特に香港、アメリカ、フランスからの宿泊者数は大きく増えている。
（改善点）
ＫＰＩに繋がる事業は概ね順調に進んでおり、今後は首都圏の東京だけでなく、新幹線のハブ駅がある埼玉県大宮を中心とした事業展開により、南砺市に対する認知度の向上と、北陸新幹線を利用した誘客に努めていく。
加えてインバウンドでは、世界文化遺産「五箇山合掌造り集落」、日本遺産「井波」、ユネスコ無形文化遺産登録の「城端」の３エリアの周遊コースの造成等の取組みや、SNS（フェイスブック等）での英語による南砺市の魅力を発信することで、更なる誘客、宿泊客を増やし、市内での消費ＵＰに努める。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	交流観光まちづくり課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	
この施策の中で取り組む事業	84　観光客受入環境整備事業 89　おもてなしFree Wi-Fi事業 97　なんチャリ事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 21-2	観光客の満足度（変更）
指標の説明、確認方法	市観光客動態調査により、各指標を設定し、南砺市に対する満足度を算出

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
86	－	－	87	88	89	89	%	88.2	99%	101%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	1	1	1					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

平成28年度より減少したものの年度目標は達成しておりＢ判定。
　平成24年度に策定した「交流観光まちづくりプラン」を平成29年度に見直し、目標を定めている。
宿泊事業者等における接客・宿泊・食に対する満足度は高いが、公共交通機関・情報発信・お土産に対する満足度が低い。
公共交通機関については新規事業として【戦略97】なんチャリ事業を開始することで周遊性を補完したい。また、お土産についても【戦略45】南砺ブランド商品開発支援との連携により、満足度の向上につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	税務課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-④　貢献市民の拡大
この施策の中で取り組む事業	90　貢献市民登録制度 91　ふるさと寄附金の推進及びふるさと産品の拡大 85　なんと！幸せのおすそわけキャンペーン

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 22	ふるさと寄附をした人数
指標の説明、確認方法	ふるさと寄附をした人数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
65	－	－	500	500	650	650	人	**462**	71%	92%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	435	0	150					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

平成28年度より減少したものの、年度目標の９割を達成しておりＢ判定。
平成29年度当初の総務省通達(返礼品は寄附金の3割とする)もあり、寄附件数の減少は全国的な傾向である。
貢献市民は増えており、応援活動として「ふるさと寄附」に取り組んで頂ける方をさらに増やしたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　移住定住施策の推進 ②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援 ③　交流観光の推進 ④　貢献市民の拡大 ⑤　「文化芸術創造都市」としての魅力をさらに高める ⑥　高校, 高専, 大学, 大学院, 民間企業などとの連携の拡充

イ　指標と達成率

数値目標 4-3	提携大学数	関連する施策区分	⑥
指標の説明、確認方法	南砺市と官学連携事業を共同で実施する提携を結んだ大学数の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率（%）	年度時点の目標数値に対する達成率（%）
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
1	2	3	4	5	6	6	大学	6	100%	150%
	（前年に対する変化目標）									
	1	1	1	1	1					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

最終目標を達成しておりＡ判定。
平成29年度中に富山県立大学と包括連携協定を締結した。内訳は県内３大学、金沢市内２大学、北海道１大学。目標に繋がるＫＰＩも好調であり、今後は、平成28年度実績の評価でも指摘のあった市民への周知に取り組むなど、既に実施した提携をより深化させていきたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点

平成　29　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	南砺で暮らしません課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-⑥　高校,高専,大学,大学院,民間企業などとの連携の拡充
この施策の中で取り組む事業	93　官学、官民連携事業 94　金沢大学セミナーハウス整備事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 24	官学・官民連携の手法を活用した事業実施数
指標の説明、確認方法	南砺市が官学連携、官民連携の手法を活用して実施した事業数の合計 ※サテライトやセミナーハウスなど１年間を通して活動を行うような事業については１つの事業としてカウント

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H29年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
	3	4	6	8	10					
2	（前年に対する変化目標）					10	件	11	110%	183%
	1	1	2	2	2					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）
「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりA判定。
平成29年度は特に富山県立大学の地域協働授業による取り組みが活発で、南蟹谷地域や井波商店街の取り組みは新聞等でも取り上げていただいた。
平成28年度実績の評価でも市民に知られていないとの指摘を受けており、これまでの事例紹介などを行いながら、更なる連携事業の推進を図りたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　今後の取り組みと改善点